

猫は、何しても許される。

第5回ミューミュー展

6/15(土)~19(水)

ミューミュー夏至祭

12時~土、火19時・日、月18時・最終日17時まで

1年のうちで、最も自然霊の力が強くなると言われる夏至。自然の申し子たる猫も、この日はパワー全開。本能のままに躍動する姿を12名の猫専門美術家達が描き出します。



会場●早稲田スコットホールギャラリー

1922年竣工の、趣きある赤レンガ造りのスコットホール。その地下1階にあるギャラリーです。東京メトロ東西線早稲田駅出口2より徒歩5分。東京メトロ副都心線早稲田駅出口2より徒歩10分。

〒169-8616 新宿区西早稲田2-3-1 早稲田奉仕団内
TEL03-3205-5411 FAX 03-3205-5413 <http://www.hoshien.or.jp/gallery/>



出品者プロフィール



一瀬尚美

アクリル・ガラス絵
絵画作品を美術館等の企画展に出品。天然石を用いたジュエリー創作も手がけ、百貨店を中心に各地のイベントに出展している。
<http://www.ichinose-cats.com>



佐山泰弘

立体造形・水墨
1994年から猫の立体作品、墨絵や日本画などの平面作品の制作をはじめ。個展や各地イベント、海外などに作品を出品。
<http://sayamaneko.art.coocan.jp/>



北田浩子

日本画
赤を基調とし、絹本に裏箔を用いた独自の画面や着物地に猫を描く。歌舞伎・バレエ・能楽などから題材をとり猫を踊らせるのが得意。『エトワール・ド・ミューズ(アトリエサード)』を上梓。ミューミュー倶楽部事務局にて女将を務める。



松本正行

立体造形
東京写真大学短期大学部(現東京工芸大学)卒業。自営業を経て、2008年ごろより尊敬する伊能忠敬を模し、第二の人生「ねこ作家」をめざす。2017年、松山庭園美術館「猫ねこ展覧会2017」においてグランプリ松山庭園美術館賞受賞。のらねこのありのままな姿をリアルに表現したいと考えている。



森田あずみ

水彩
猫を中心に犬や身近な小動物を描いている。
<http://www.kuromame0.wix.com/azumimoritahp>



中島祥子

水彩
花の販促会社で長くアートディレクターを務めたのち2000年に独立、装幀家・猫画家として活動。植物画の中に妖精猫を配した水彩画が代表作。著書は『FAIRY CATS(アトリエサード)』など。ミューミュー倶楽部事務局にて丁稚を務める。



山中翔之郎

パステル
1955年東京生まれ。98年に頸椎症を手術、手に麻痺を残したまま本格的な制作活動を開始。独自のパステル画技法で、愛猫元生(げんき)を中心に猫・犬・身近な動物たちを描く。2004年には絵本『うさぎのユック』(文 絵 門ゆう子、金の星社刊)の絵を担当。年4~5回の個展を続けながら数々の企画展に参加。これまで手掛けた身近な動物たちの肖像画は500点近い。



湯原 豊

写真
主に首都圏の外猫の写真を撮影している「シッポ追い」。



並木 Dari

モザイク
ポザール・ミュー★
最古参の顧客で、多くの作家のモデルとなった伝説のコスチューム猫「エカテリーナ」のママ。現在はミューミュー倶楽部事務局にて手代を務める。



よこたしょうこ

鉛筆
鉛筆画家、絵画教室講師。カルチャースクール、生涯学習支援施設、老人施設等で絵画講習会など開催。各地にて展覧会、企画展などに参加。
<https://shokoyokota.jimdofree.com/>



渡部ゆか

水墨
白麻紙に墨を滲ませながら白と黒の世界に猫を描く。
<https://watabeyuca.jimdo.com/>



目羅健嗣

色鉛筆
袖ヶ浦市役所図書館勤務の後、猫絵師に転職。個展開催・イベント出展多数。絵画教室も開催。近年は各地での紙芝居公演も人気。近著は『ニャンタフェ猫浮世絵「最強猫doll列伝」コレクション~MELANO MUSEUM collection 3』(TH ART SERIES)。ミューミュー倶楽部事務局にて番頭を務める。

★日本最初の猫専門美術画廊(1984~2013)。「ミュー好み」と呼ばれたその美意識は、ゆかりの作家と顧客で建ち上げた会員制愛好会 ミューミュー倶楽部に受け継がれている。



猫美術愛好会 ミューミュー倶楽部

会員募集中

年会費 3000円 各種特典あり お問い合わせ mail officemarmica@icloud.com tel 03-3315-0613 facebook ページ ● <https://www.facebook.com/chatondemieux>